

豊玉二中だより

平成27年度 第9号
発行日12月25日(金)
練馬区立豊玉第二中学校
校長 中山 徹

小中一貫教育を推進しています

～小中一貫教育実践校としての9ヶ月間の取組を振り返って～

校長 中山 徹

本校の五角形の校舎は、豊玉第二小学校、豊玉東小学校、そして本校の3校で施設分離型の小中一貫教育推進を前提として、設計され、建てられた校舎です。

4月以降、3校で作成した「小中一貫教育プログラム」の計画にそって、小中連携教室を活用しながら小中一貫教育の実践を進めてきました。その様子は、適宜、学校だよりや学校ホームページでもお知らせいたしましたが、あらためて今年度のここまで9ヶ月間の取組について、皆様にお伝えしていきたいと思ひます。



登校風景

まず、児童・生徒の活動ですが、下表のような取組を行ってきました。

実施日	実施内容
4月 28日(火)	【5年生登校日】・・・両小学校の5年生が豊玉第二中学校へ登校 ・新校舎見学 ・中学校授業の参観 ・避難経路確認 ・中学校での給食開始 ・小小連携の交流会 ・生徒総会見学
5月 19日(火) 5月 20日(水) 5月 21日(木)	【6年生登校日】・・・両小学校の6年生が豊玉第二中学校へ登校 ・中学校教員が小学生を教える「乗り入れ授業」 (国語、算数、理科、社会、体育、音楽、家庭科、食育、外国語活動) ・中学校での給食開始
7月 14日(火) 7月 15日(水) 7月 16日(木)	【5年生登校日】 ・中学校教員が小学生を教える「乗り入れ授業」 (体育、音楽、家庭科、外国語活動) ・中学1年生の総合的な学習「異文化交流会」への参加 ・部活動体験
10月 10日(土)	・本校運動会で「小中連携綱引き」を実施(約50名の小学生が参加)
10月 22日(木) 10月 23日(金)	【6年生登校日】 ・中学校教員が小学生を教える「乗り入れ授業」 (国語、算数、理科、社会、食育、外国語活動) ・部活動体験
10月 27日(火) 10月 28日(水)	【5年生登校日】 ・中学校教員が小学生を教える「乗り入れ授業」(国語、算数、理科、社会) ・部活動体験

※裏面に続きます

5年生登校日、6年生登校日とも、初日は小学校から担任が引率しての集団登校としましたが、2日目以降は、各児童が自宅から中学校へ直接登校するかたちをとりました。

「乗り入れ授業」は、昨年度までに小中合同で作成した『小中一貫プログラム指導案集』にある学習指導案に基づき、本校教員が小学校教員と連携しながら実施しました。

その特色ある取組の一例として、国語の小中交流授業があげられます。

小・中学校の児童・生徒で5、6人のグループを作り、授業の中で意見交流を取り入れるなどした小中連携型の学習活動を進めました。

本校生徒の声を紹介します。

「小学生が自分の意見を明確にして、理由も工夫して述べていたので、分かりやすかったです。」

「小学生の意見を聞いて、気づかされたこともたくさんあって、よい経験になりました。」

「みんなハキハキと発表していたし、とても6年生が書いたとは思えない文章ばかりで、よい意見交換会になったと思います。」

「小学生は、自分の体験をふまえて、工夫してまとめているのがよいと思いました。自分が納得したところは、しっかりと理由も書いていて、ちゃんと自分の意見をもって発表してくれました。」



国語の小中交流授業

このような生徒の感想（一部要約しました）から、中学生にとっても得るものが多くあったことが分かります。

また小学生の感想も寄せられています。（これも一部要約しました。）

「中学生に良かったところや、もっとこうしたほうがよいというアドバイスを言ってもらいました。的確なアドバイスをしてもらえてよかったです。」

「中学生にアドバイスや感想をもらいました。これから文を書くときは、中学生のアドバイスのことを思い出して書きたいです。アドバイスなどしてくれてうれしかったです。」

「中学生のみなさんは深く考えをもっているように感じました。」

「意見交流をしたとき、緊張していたけれど、優しく話を進めてくれたり、聞いたりしてくれました。ありがとうございました。」

「中学生のお兄さん、お姉さんはあこがれの存在です。理由は、意見交流会の時に、私たち6年の意見に、感想やアドバイスをわかりやすくしてくれたからです。」



音楽の乗り入れ授業

話し合い活動の時に、小学生が理解しやすいように配慮しながら、また言葉を選びながら、丁寧に司会進行を務めていた本校生徒の姿、柔和な表情がとても印象的でした。とても頼もしく見えました。小学生にとっても、中学生にとっても、お互いに刺激しあい、高めあうことができた時間になったと思います。

このほかの授業にも、小学生は意欲的に参加していました。中学校の授業の雰囲気十分に慣れ、親しむことができたと思います。

行事等では、生徒総会、運動会、留学生との交流行事、部活動体験などで、児童・生徒との交流の機会を設けました。8月末まで、改修工事のため校庭が使えなかったこともあり、やや不便な面もありましたが、工夫しながら進めることができたと考えています。

なお、来年3月に実施する本校の文化発表会には両小学校の6年生が参加し、合同で合唱を披露してくれることになっています。とても楽しみです。



小中連携競技「綱引き」

実施後のアンケート結果からわかったことですが、小学生は「小中一貫教育プログラム」による授業・交流活動等に概ね満足したようです。中学生と交流したり、施設を利用したり、また教職員とも関わったりすることで、中学校への不安が減少し、期待を高めることができたと考えます。「小・中学校の円滑な接続」という目的に十分近づくことができたのではと分析しています。

教職員の取組としては、これまでに合計6回、3校合同で小中一貫教育推進委員会を開き、3校の校長・副校長・教務主任・小中連携クリエイターで、実践の進め方や留意点などについて協議を重ねてきています。

また、3校の教員全員が参加する小中合同研修会を2回実施（3回目は来年2月に実施予定）し、小中一貫教育実践校としての活動に関して、意見交換を進め、相互理解を深めてきています。

これから年度末にかけて、本年度の成果・課題を整理し、来年度の計画を立てていく予定です。

以前にも学校だよりでお伝えしましたが、「地域の子どもたちを、地域の学校で、責任をもって育てたい」という想いを、今後も大切にしていきます。

「豊玉第二小・豊玉東小、豊玉第二中で9年間学ぶことができよかった」と、児童・生徒、保護者が実感できる学校づくりを是非進めていきたいと考えています。よろしくお願ひいたします。



良いお年をお迎え下さい。
来年が、皆様にとって良い年でありますよう
お祈り申し上げます。
平成28年も、よろしくお願ひいたします。

